

今日の説教のポイント<マタイによる福音書1章18~25節>

①神様が起こされた出来事。だから不思議であって当然。

結婚前のマリアのお腹にイエス様が宿る不思議な話です。「そんなことは信じられない」、で済ませてしまっていていいでしょうか？ それはおかしいです。なぜなら、これは、徹頭徹尾、神様がイニシアチブを取って行われた「神様の出来事」です。神様が起こされた出来事、すなわち、神様には可能な出来事なのですから、人間の目に不思議に見えるからといって退けるのは理に適っていません。人間の目には不思議に見えるからこそ、むしろ神様らしい出来事と言えるかもしれません。もし本当に神様がそのような出来事を起こされたのなら、一番大事なことは、神様は何のためにそのことを起こされたのかを探ることでしょう。

②それは、この子によって私たちに罪から救う出来事！

何のために神様はこのような出来事を起こされたのか？ その答は次のようにはっきり述べられています。「その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。」(21節)。イエスとはヘブル語のヨシュア、つまり「ヤハウェは救い」を意味しています。よって、神様は「自分の民を罪から救う」ためにこの出来事を起こして下さったのだ、と言われているわけです。では、ここに出て来る「罪」とは何でしょうか？

③罪とは？ それからの救いとは？ 神様と共に生きられる恵み！

「罪」を自分勝手に考えてはなりません。ここには、その子はインマヌエル、つまり「神は我々と共におられる」と呼ばれるようになると言われていています(23節)。ですから、罪とは、この逆の、「私たちが神様と共にいない状態、私たちが神様から離れている状態」のことなのです。神様はその状態をこのイエス様によって変えると言われているのです。

「罪」の元のギリシア語は「ハマルティア」です。これは的に向かって放った矢が的を外している状態を意味しています。それは、一所懸命生きていたとしても神様の方を向かずにいる、そういう時の私たちの状態を指しているのです。神様は、「私はあなたと共にいる。この子イエス・キリストによってそれを示すから、私に立ち帰りなさい」、と言われたのです。その子の誕生を喜び祝うのがクリスマスなのです！